

地域資源ブランド児童生徒向け現地学習会 【霧島ジオパークツアーAコース（高原町・小林市）編】



令和3年10月16日（土曜日）に地元の小中学生を対象とした現地学習会を実施しました！
今回は、高原町と小林市をフィールドに霧島ジオパークについて様々な体験を通して学びました。



〈参加者数〉 11名

〈実施内容〉 ○奥霧島御池キャンプ村・クルージング体験
○ひなもり台県民ふれあいの森
○グリーンウッド体験

○奥霧島御池キャンプ村・クルージング体験

ジオパークの基礎知識を学び、7月に運行を始めたばかりの御池クルージングを体験しました。ガイドさんの話を聞きながら、御池をゆったりと周遊し、車からは見られない景色を楽しんでいました。御池の水は、お米を作る際にも使われていて、私たちの生活とジオパークが密接に関わっていることを学びました。



○ひなもり台県民ふれあいの森

霧島山の成り立ちについて学び、目の前に広がる地層を見ながら、地層のスケッチを行いました！その後、本ツアーのために作成された「クイズで学ぶひなもり物語」に挑戦しました。工作やタブレットを使ったゲームを通して森林の大切さや、植生の豊かさを学びました。



○グリーンウッド体験

本物の木を使ってバードコール（鳥笛）という工作をしました。木の表面を紙やすりでつるつるに磨き、口と目を貼り付け、てっぺんに金具を差し込むと、「キュルキュル」と鳥の鳴き声のような音が鳴り、子どもたちは楽しそうに音を鳴らしていました。



今回は、フィールドワーク等で霧島ジオパークの自然を体験することができ、霧島ジオパークとSDG'sを結び付けて学習する貴重な機会となりました。